

令和 2 年 8 月 27 日

## 世界初の角筆資料室を中央図書館に設置しました

角筆研究の第一人者で文化功労者に選ばれた小林芳規名誉教授の収集した角筆文献の資料室「小林角筆資料室」が中央図書館に設置されました。角筆文献を集めた資料室は世界で初めてです。

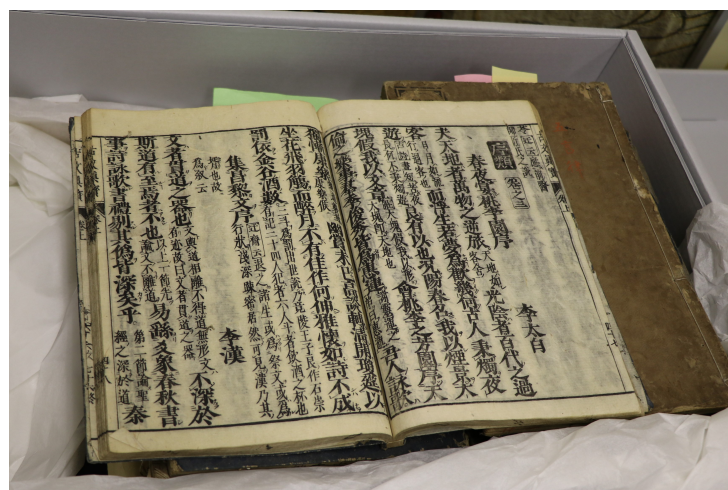
角筆は先端をとがらせた木や竹の筆記具です。小林名誉教授は 1961 年、この角筆を用いてくぼませて描いた字や絵を漢籍資料から初めて発見しました。以来、日本各地や中国、韓国などの古文書から角筆の書入れが確認された文献は国内だけで約 3350 点に上っています。

今回、小林名誉教授が収集された角筆文献を本学にご寄贈いただいたのに併せ、中央図書館の地下一階に資料室を設置しました。角筆文献 293 点 943 冊と共に、角筆の実物や角筆を浮かび上がらせるために考案された「角筆スコープ」などを所蔵しています。

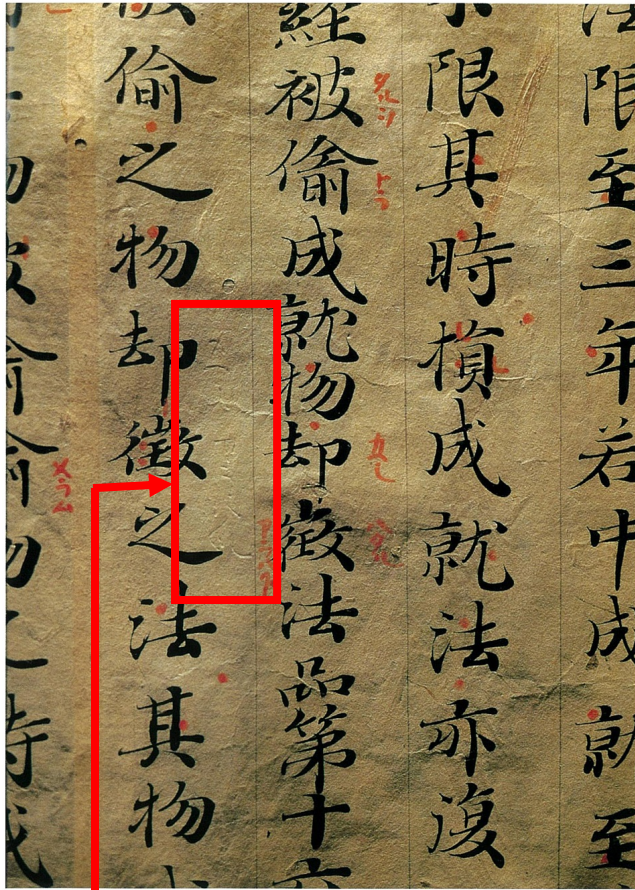
現在、図書館はコロナ感染拡大防止のため学外の方の利用はできませんが、今後は広く世界の研究者に利用していただき、小林先生が切り拓かれた角筆研究を継承・発展させていきたいと願っています。



(小林角筆資料室入り口)



(角筆文献)



④ 蘇悉地羯羅經卷中 廣島大學國語學研究室藏

（右から4行目の中央付近「却徵之」の右横に「カヘシアラハス」の角筆による書き込みがある）

『角筆文献の国語学的研究 研究篇』（小林芳規著；研究篇 -- 汲古書院, 1987）より

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 図書館部 大元  
TEL:082-424-6220